

喜界町

図書館だより

5月号



【通算 第299号】

2021（令和3）年5月1日発行

〒891-6201

喜界町大字赤連字樋口前30番地

TEL：0997-65-0962

FAX：0997-65-2523

e-mail:kikailib@town.kikai.lg.jp

ブックスタート

図書館からのプレゼント！
（コットンバッグ・絵本）



赤ちゃんと保護者が、絵本を介して
一時の心の触れ合いをつかむ、きっか
けづくりのお手伝いをしています。

＝ 入賞おめでとう！！ 読書マラソン表彰 100冊以上は59名 ＝

風薫るさわやかな季節となりました。図書館の周りでも草花が咲き誇り鳥たちのさえずりが聞こえてきます。

さて、喜界町図書館主催の令和2年度読書マラソンが3月31日で終了しました。その結果を受けて、100冊以上の多読者への表彰を4月6日から図書館来館時に随時行っています。今回の100冊以上の入賞者は、幼児12名、小学生15名、中学生1名、一般31名の計59名でした。

「生活の中に図書館を！普段から楽しんで読書に親しんでほしい」という趣旨のもとで実施した読書マラソンは、登録者全員を対象として昨年4月1日から今年3月31日までの1年間の貸出冊数を集計した結果、幼児の最高多読者が317冊、小学生が388冊、中学生が139冊、一般が606冊でした。令和2年度は、コロナウイルス感染防止のための休館等もあり例年に比べて入賞者がやや少なかったですが、喜界町図書館では、今年度も町民の皆様の要望に応えられるようサービスの充実を図っていききたいと思いますので、多くの皆様のご利用をよろしくお願いいたします。

「心を養う子供時代の読書」

～上皇后美智子様の皇后時代のご講演から～

上皇后美智子様は、皇后時代の1998年国際児童図書評議会ニューデリー大会の基調講演で、「本の中で人生の悲しみを知ることは、自分の人生に幾ばくかの厚みを加え、他者への思いを深めますが、本の中で、過去現在の作家の創作の源となった喜びに触れることは、読む者に生きる喜びを与え、失意の時に生きようとする希望を取り戻させ、再び飛翔する翼を整えさせます。悲しみの多いこの世を子供が生き続けるためには、悲しみに耐える心が養われると共に、喜びを敏感に感じとる心、又、喜びに向かって伸びようとする心が大切だと思います。」と述べられました。

喜界町図書館でも、年間を通して多くの子供たちに利用していただいておりますが、今行っている読書によって、悲しみに耐える心や喜びを敏感に感じとる心、喜びに向かって伸びようとする心が養われることを心から願っています。



お知らせ



本は期間内に返却しましょう！

募集中！

読み聞かせボランティアを募集しています。
興味のある方は、図書館へ連絡ください。

2021（令和3）年度読書マラソン開始

期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

対象者：図書カードを持っている方全員参加とします。

【特典】

100、200と冊数が増えるごとに貸出冊数が1冊ずつ増えます。

100冊以上読んだ方・・・11冊

200冊以上読んだ方・・・12冊

300冊以上読んだ方・・・13冊借りられます



～書物を読むことは、
他人が辛苦してなしとげたことを、
容易に自分に取り入れて
自己改善をする最良の方法である～
（ソクラテス）



2021年 本屋大賞は、 『52ヘルツのクジラたち』

町田そのこ 著 中央公論新社

◎本館にも所蔵しています。

2021年 本屋大賞ノミネート作品も図書館にあります。
ぜひ、読んでみてください！（2位以下は次の通り）
『お探し物は図書室まで』 青山美智子 著 ポプラ社
『犬がいた季節』 伊吹有喜 著 双葉社
『逆ソクラテス』 伊坂幸太郎 著 集英社
『自転しながら公転する』 山本文緒 著 新潮社
『八月の銀の雪』 伊与原文 著 新潮社
『滅びの前のジャングリ』
風良ゆう 著 中央公論新社
『オルタネート』 加藤シゲアキ 著 新潮社
『推し、燃ゆ』 宇佐美りん 著 河出書房新社
『この本を盗む者は』 深緑野分 著 KADOKAWA